

令和7年度市政懇談会で出された質問・意見に対する回答

資料4

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
1次世代	教育	・小中学校体育館空調整備 袋井市ではR7～8年度にすべての小中学校に整備するとの新聞報道がありました。菊川市の小中学校はどう取り組むのか。 ・体育館の空調整備の現状と今後の計画について	体育館の空調の整備でございますけれども、本年度小笠北小学校と六郷小学校の設計の予算を9月の補正予算で計上をさせていただきました。次年度以降も順次整備を行ってまいります。体育館の空調の整備費に関しましては、国の補助金制度を活用する方法と、借入金を活用する方法がございます。今後、国の補助金制度の状況がどうなるのか年末にかけて決まって来ますので、そちらの状況も注視しながら各年度2～3校を整備していくような形で、教育委員会としましては令和12年度までに各小中学校の体育館を整備していきたいと考えています。	教育文化部
1次世代	教育	・学校施設の老朽化対策について	学校施設につきましては、小中学校のいずれも耐震化は完了しております、校舎につきましては80年を目安として使うことを考えております。老朽化対策ですけれども、法律に基づく点検の結果、修理が必要なところが出てきますので、その都度修繕するのはもちろんですが、それ以外に、施設のバリアフリー化や電灯のLED化、先ほど申し上げました体育館の空調設備の導入など、国の補助金を活用するような工事に合わせて、施設の長寿命化についても併せて実施することによって、できるだけ市の負担を減らすような形で老朽化対策を進めているところでございます。	教育文化部
1次世代	教育	・菊川市の小学校の統廃合について ・南小学校の今後について	市内の小学校ですけれども、今後児童数が減少していく中で小規模学校が増加することが見込まれておりまして、担任の先生1人が2つの学年を見るような複式学級になることも想定されているところです。こうした状況を受け、教育委員会では「菊川市学校の未来を考える会」という会を組織しまして、望ましい教育環境確保のための骨子案の作成を進めているところでございます。 教育委員会としては、現時点では統廃合ではなく、ICT機器を活用するなどの教育方法を工夫することで、各学校における多様な学びの機会を確保して、質の高い教育を提供していくことを考えております。今年度骨子案を策定しまして、来年度から学校運営の将来像について地域の皆様との意見交換会を行い、具体的な方針の策定に繋げていきたいと考えています。	教育文化部
1次世代	教育	・教育関係で、ひきこもりや不登校の人数はどのくらいか。	令和6年度の不登校児童生徒数につきましては、小学校が65人（約2.5%）、中学校が102人（約7.5%）であり、4年連続で増加しています。無理に登校を促すのではなく、児童生徒の状況に応じた支援を重視していることから、一定程度の増加がみられる状況です。 ひきこもりにつきましては、5～6年前に民生委員の協力を得て調査を実施しましたが、現在手元に数値はありませんので数値の報告は出来ませんが、そちらの調査結果を基に、昨年度から「ひきこもり支援推進事業」として相談対応、居場所づくり、学習会、家族交流会などの事業を、社会福祉協議会へ委託して実施しています。昨年度の相談対応は延べ48件で、本年度も引き続き事業を継続しています。心配のある方は相談窓口をご利用いただきたいと考えています。	教育文化部 健康福祉部
1次世代	教育	・少子化対策について、小学生の低学年のうちに子どもへ伝えられるように、小学1・2年生の保護者を対象に身体や性についての講演会や説明会を開催してほしい。	小・中学生に対しましては、「思春期講座」という形で平成27年度から中学生を対象に開始し、令和5年度からすべての小中学校で実施しています。内容につきましてはそれぞれの学年や年齢によって異なりますが、病院産婦人科の医師や助産師、市の保健師による授業を行っております。中学生は1～3年生を対象に、小学校は主に2年生、4年生に行っております。 保護者を対象とした勉強会や講演会というものは現在やっておりますが、親から子へ伝えていくことも大変重要なことだと認識しております。保護者向けの勉強会や講演会について、どのようなことができるのかは、この場ではお答えすることはできませんが、今回いただいたご意見を基に検討していきたいと思っております。	こども未来部
1次世代	教育	・中学校の部活について、その他の部活の現状は。	中学校の部活については、令和7年度は、野球部、ソフトボール部、男子バレーボール部、サッカー部、女子バスケットボール部が3校合同の部活動として活動中です。これら5部活に加え、令和7年11月現在、男子バスケットボール部、男女ソフトテニス部、女子バレーボール部、吹奏楽部の5部活が、合同部活動の開始に向けて調整中という状況です。	教育文化部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
1次世代	子育て	・掛川市のこども園と「きたっこ」の違いは。	<p>掛川市のこども園ときたっこの違いですが、まず市内の園の状況を少しご説明しますと、市内には保育園が4園、こども園という幼稚園と保育園の子どもと一緒に過ごす施設が9園、小規模保育事業所という0歳から2歳までの小さな子どもを預かる施設が4園ございまして、市内の子どもをお預かりしている状況でございます。</p> <p>掛川市の園との違いは、なかなか一言で言うと難しいのですが、小笠北認定こども園きたっこは、市内唯一の公立園になりますので、公立園の役割として市全体の保育・教育の質の向上、市全体の施設間の情報共有であるとか、支援が必要なお子様の受け入れなど、本市の拠点園となるよう運営している状況でございます。市内の民間園に通う園児には支援を必要とする園児もございまして、園児が集団生活に適応できるように、きたっこの職員による訪問支援なども実施しております。いずれにしましても、きたっこの限らず市内全園で園児が質の高い保育を受けることができるよう、市としても支援をしていきたいと思っております。</p>	こども未来部
1次世代	子育て	・出生率が低く子どもが少ないと思うが、待機児童がいるのが不思議だと思う。	<p>市のこども園等への入所児童数（2号、3号）は1,154人で、平成31年度以降、国の定義による待機児童数は0人となっております。しかし、実態としては、いわゆる私的待機に該当する児童が18人おります。</p> <p>私的待機の発生要因は、他に利用可能な保育所等があっても、特定の園を希望しているため入所できない方が生じることによります。市としては、可能な限り希望する園に入所できるよう調整を行っていますが、一部で調整が必要となっている状況です。今後も待機児童の解消に向けて、入所調整の適正化に取り組んでいきます。</p>	こども未来部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
2 安心	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・今の対策を上回る規模、ペースの災害に危機感をもって対処・対策、準備をしていますか。 ・過去の例からも地域が主体でやらざるを得ない。自治会や地区では限界があるため、長期的な視点で食料等の確保に尽力してほしい。 ・地震が怖い。地震の備えについて公助の体制が全国でトップレベルの備えを有しているか聞きたい。 	<p>菊川市の災害の備えにつきましては、市の防災計画に沿って対応をしています。防災計画は、県が発表している第4次被害想定を基準に、災害の資機材や食料品などを計画的に配備、準備しているところがございます。それにつきましては、引き続き計画的に対応していくものと考えています。今後、第5次の被害想定が出ると聞いておりますので、そちらが示されましたら市の方も対応の見直しをしまして、今の装備品で足りないものが出てきましたら装備の方を準備していきたいと考えております。</p> <p>防災の基本につきましては、自助の部分でございます。自助の部分として7日分の食料の備蓄など、どうしてもお願いしないといけない部分がありますので、そちらについては引き続きお願いをしていきたいと思っておりますし、共助の部分としては、自治会や自主防災会の方でフォローしていただく部分も多数出てくると思っておりますので、そちらにつきましてよろしく申し上げます。</p>	危機管理部
2 安心	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・防災グッズに対する補助を考えてほしい。 ・防災関係の補助金をアップしてほしい。 	<p>自助の支援として、感震ブレーカーの設置、家具転倒防止、我が家の専門家診断、ブロック塀撤去などの補助事業を実施しています。共助の支援としては、自主防災会に対する資機材の整備補助を行っています。</p> <p>災害対応の基本は自助でありますので、7日分の食料備蓄などは各家庭での対応をお願いしたいと考えております。一方で、公助として市も備蓄食料等の整備を計画的に進めています。自治会・自主防災会の皆様には、共助の部分を引き続きご協力をお願いしたいと考えています。</p>	危機管理部
2 安心	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の件で、避難所と連絡所が分かれているところがあるが、同じ場所にした方が良いと思う。 ・岳洋中は地震の際の避難所になっているが大丈夫か。 	<p>市が指定する避難所につきましては、地震用と風水害用の2種類を指定しており、地震用が市内16箇所、風水害用が14箇所となっております。平川地区では、地震時は岳洋中学校、風水害時は平川地区コミュニティセンターを避難所として指定しています。地震時の避難所は長期間の避難を想定した施設であり、岳洋中学校については安全性に問題はなく、避難所としての利用に支障はありません。一方、風水害時の避難所は、大雨等による浸水の危険からの一時的避難を目的とした施設であり、用途が異なります。</p>	危機管理部
2 安心	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市は東西に長く中心にあり、地震で広域に被害が出た時、他からの救援支援が一番遅くなりそうで心配している。 	<p>救援物資の供給が遅れるのではないかと懸念につきましては、国等からのプッシュ型支援を円滑に受け入れるため、受援計画の整備・受援体制の強化を進めています。今年12月の地域防災訓練では、物資受入・仕分け等を含めた実践的な訓練を実施する予定であり、課題を把握し実効性を高めていく方針です。</p>	危機管理部
2 安心	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の推進について 	<p>本市では地域防災計画に基づき防災対策を推進しています。</p> <p>また、防災の基本は「自助」「共助」「公助」であります。自助については、感震ブレーカー設置補助や家具転倒防止に関する委託事業を実施しており、食料品等の備蓄や情報収集方法などを啓発し防災意識の向上を図っております。共助に関しましては、地区防災連絡会や防災指導員の研修会を実施し、防災知識の向上を図るとともに、情報共有や訓練等により連携を図っております。</p>	危機管理部
2 安心	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時の防災対策について 	<p>大規模災害に備え、菊川市地域防災計画を策定しております。一般対策編・地震対策編・原子力災害対策編の3項目で構成されており、毎年根拠資料等は修正を実施しております。大規模災害時に対応するよう毎年、水防訓練、土砂災害訓練、総合防災訓練、地域防災訓練、原子力防災訓練を実施しており、災害時には速やかに対応できるよう努めております。</p>	危機管理部
2 安心	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部外の防災の取り組みについて 	<p>中心部外に対する特別な取り組みはありません。市内全域で防災について考えております。復旧に関しては幹線道路から徐々に復旧することになるため、復旧時期については各地区ごと異なります。</p>	危機管理部
2 安心	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の今後の計画について 	<p>本市では地域防災計画に基づき防災対策を推進しています。また防災計画は、県が発表している第4次被害想定を基に作成しておりますが、今後、第5次被害想定が示されますので、市の計画に反映し、引き続き防災対策を進めてまいります。</p> <p>また、防災の基本は「自助」「共助」「公助」であります。引き続き個人備蓄率の向上や地域組織との連携を図り防災意識・知識の向上を図ってまいります。</p>	危機管理部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
2 安心	原発	・原発をどうするか。	<p>共同原発の関係ですが、事業者である中部電力で原子力規制委員会による新規制基準の適合性の審査を継続しているところであります。市は、浜岡原子力発電所がある以上その稼働の有無に関わらず、市民の皆様の安全・安心のために、避難手段の確保など原子力災害対策を進める必要がございます。</p> <p>原子力災害に備えて、平成31年度に原子力災害広域避難計画を作成しましたが、計画自体の認知度が低いというご意見も寄せられていましたので、今年度は自治会の皆様のご協力をいただき、原子力災害広域避難計画の概要版を全戸配布させていただきました。今年の9月には、みなみやま会館でも原子力災害広域避難計画に関する説明会を開催させていただき、計画のことで知っていただく機会を作らせていただいているところでございます。計画の認知度がまだまだ低いこともありますので、引き続き周知を継続的に行いまして、今後も市民の皆様が、必要な放射線防護対策をとることができるように取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>また、広域避難につきましては、単独災害の場合には浜松市、湖西市、愛知県の田原市、豊橋市、複合災害になったときは富山県の高岡市、氷見市、砺波市、小矢部市の方に避難することになります。受け入れていただく自治体と、いろいろな部分で関わりを持ちながら顔の見える関係づくりに取り組んでいるところでございます。まだまだ色々な課題がありますし、市単独で解決できるものではありませんので、国や県の支援をいただき連携する中で取り組んでいき、また要望もしていきたいと考えております。</p> <p>原発の話やはり安全第一だということと、それから広域避難計画の実効性を高めるという意味では、掛浜バイパスがしっかり繋がるということも大事だと思います。</p> <p>それから顔の見える関係という話がありました。私の就任後、富山県内の自治体を全て回らせてもらって首長さんに直接ご挨拶させていただきました。それでも首長は変わるものですから、先日には氷見市の市長さん、それから高岡市の市長さんが変わったので訪問させていただきました。顔の見える関係ということで、本当に避難する時にはそのまちのことを知らない、なかなか行けるものではないということも含めて、皆さん方にもその辺含めてお話をしていく必要があると思っております。</p>	危機管理部
2 安心	原発	・浜岡原発の再稼働に関して、菊川市のメリットとは何か。	<p>一般的には安定した電力供給や二酸化炭素排出削減が考えられます。</p>	危機管理部
2 安心	自然	・今後、野生動物（熊）の南下は時間の問題だと思うが、市としては対策は考えているか？	<p>出没時の対策につきましては、静岡県、近隣市、地元猟友会等の関係機関と連携した情報収集と、市民の皆様への注意喚起を実施するとともに、捕獲体制の整備を迅速に行います。ただし、住宅密集地での発生時における対応については、令和7年9月に施行された緊急銃猟制度の活用も視野に入れ、今後更なる協議を重ねていく必要があります。</p> <p>そのうえで捕獲に必要な資機材については、県からの貸与や国交付金の活用により準備をしていきます。また、食用しない農作物の撤去や獣種に合わせた農地への侵入防止柵の設置等により、野生動物を寄せ付けない対策が必要であります。農地に侵入防止柵を設置する際にご活用いただける補助金がありますので、活用の推進に努めてまいります。</p>	建設経済部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
3 幸福	医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 菊川病院の状況について ・ 菊川病院の産科がR8.3月で閉まると、その後はどうなるのか、また菊川病院の経営内容は。(病院のスタッフの皆様には感謝しております) ・ 妊活サポート事業を始めたが、菊川病院の分娩中止が残念という声をよく聞きます。将来的に復活は可能ですか。 	<p>既に報道等でご存知かと思いますが、令和8年4月から当院の産科分娩を休止させていただくことになりました。これにより、菊川病院での出産ができなくなることになりますが、4月以降も外来診療の妊婦検診や婦人科診療、ワクチン接種等は従来通り継続できるように調整を進めております。この少子化の中で市民の皆様が困ることがないように、市内にあります松下産婦人科や近隣の中東遠総合医療センター、浜松医科大学と協力しながら、市民の皆様の受け入れが困らないよう調整を進めております。</p> <p>今は病院の経営状況が非常に厳しく、どうしても医療の一部に制限をかけていくしかない状況ですが、一刻も早くこの状況を改善しまして、市民の皆様の安心安全に繋がるような医療提供体制を構築していきたいと考えております。ご心配ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。</p> <p>補足でお話させていただきます。菊川病院は本当に頑張っておりまして、昨年度過去最高の収益を出しています。過去最高の収入を出しても赤字になってしまうという状況で、これは医療制度全体の構造に課題があると考えており、全国の公立病院を持つ首長が国に対して何とか改善してほしいと要望してるところです。菊川病院だけでなく全国の公立病院が大変な状況ですので、全国市長会などでしっかりと要望してまいります。菊川病院はものすごく経営努力して、切り詰める所はきっちりと切り詰めてしっかり経営をしていますが、産科については24時間体制で対応しなければいけないため、ものすごい経費がかかります。実際のところ、松下産婦人科や中東遠総合医療センターには余力があるということで、分娩についてはお任せして、森全体が崩れることがないように木を切って守る、菊川病院をしっかりと守っていくことが大切だということで決断をさせていただきました。私も経営はしっかりやっつけていかなければいけないと思っておりますので、温かい目で見守っていただきたいと思っております。</p>	菊川病院
3 幸福	医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療費が高すぎるなど、医療に関してもっと詳しく聞きたい。 ・ 病院に産科がないので、出生率の向上は難しいのではないかと。 	<p>医療費は国が定める診療報酬単価に基づき算定されるため、同じ治療であればどの医療機関でも原則同額となります。高いと感じられる点については病院としても心苦しいところですが、医療機関の経営状況は厳しく、全国の公立病院の7割以上が赤字で運営しているのが実情となります。</p> <p>また、菊川病院では産科分娩の取扱いを来年4月から終了する方針であり、これは経営面での判断によるものです。市として目指す出生率向上の方向性とは逆行する面もありますが、その他の医療体制を維持するために必要な決断だと考えております。地域医療を継続していくため、皆様のご理解をお願いしたいと考えています。</p> <p>補足でお話させていただきます。菊川病院の昨年度の分娩件数は55件でした。一方、市内の松下医院は約300件を取り扱い、さらに同数程度の受入余力があります。また、中東遠総合医療センターでも約300件を取り扱い、同様に300件程度の受入余力があるという状況です。</p>	菊川病院
3 幸福	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康長寿など静岡県トップは喜ばしい事です。上位になる要因の取り組みなどを教えてください。 	<p>静岡県は健康寿命で一番ということで、その中でも菊川市はお達者年齢が長いという状況です。このお達者年齢ですが、死亡率が低くて要介護認定2以上の割合が少ないほど、お達者年齢が長くなります。なぜお達者年齢が長いのかということをし少し分析したところ、やはり1年中温暖な気候で外に出て活動できる時間が長いこと。それから、茶業など農業に従事して外でお仕事をしている方が多いこと、あとグラウンドゴルフも盛んだと思いますし、特に河城はフーバの発祥ですので馴染みのあるスポーツだと思います。このような運動をたくさんやっている人が多いことも、お達者年齢が長くなる要因かと思っております。</p> <p>本市は、平成18年度から介護予防事業を割と早い頃から始めています。サロンであったり、きくがわ体操を独自で作ったり、出前行政講座として脳活セミナーをやったりという取組を行っています。また、出張健康チェックも本当に多くの皆さんにご利用いただいておりますので、そのような地道な活動が皆さんの健康につながっていると考えております。あと、後期高齢者のデータを見ますと、検診を受けている方が周りの市町と比べて多いので、自分の健康に気を遣っている方が多いことも今回の結果につながっていると思います。</p> <p>また、先ほどウォーキングの動画を紹介させていただきましたが、潮海寺のコースがございまして、またぜひ歩いていただきたいと思っております。</p>	健康福祉部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
3 幸福	健康	女性の健康度が男性より低いのはなぜか。	<p>お達者年齢ですけれども、こちらは死亡率が低く、要介護認定割合が低いほど、お達者年齢は長くなります。特に女性の方は、上位の市町と比べますと介護の認定、要介護2以上の方が少し多くいたということから、その影響を受けてお達者年齢が短くなったと分析しています。死亡率は少ない方ですが、やや介護状態の人が多かったという状況です。こちらがなぜ多いのかということですが、女性の場合、割と早くから介護保険サービスを利用されていることが多いのではないかと考えております。</p> <p>お達者年齢の順位ですが、今年度公表された令和5年の数字は、男性は81.9年で県内2位、女性は84.5年ということで、男性より平均寿命は長いということで、数字だけ見ると女性の方が長い状況になっております。男性の順位は1位から2位になりましたけれども、実際のお達者年齢の期間を見ますと、0.1年昨年より伸びています。女性の場合は、順位は上がりましたが数値はプラスマイナスゼロということで、ほぼ維持している。男性については、順位は少し下がりましたが、お達者年齢は伸びているということです。</p> <p>また、先ほど食事と運動と社会参加というキーワードがありましたけれども、社会参加で外に出て行く、こちらの地区も農業などで体を動かす機会がある方がとても多いかと思っておりますので、そういうことが男女問わず元気な証拠、元気でいる秘訣というところに繋がっている状況でございます。</p>	健康福祉部
3 幸福	福祉	・介護(自宅)に対する支援が欲しい。経済的負担の軽減が必要だと思います。	<p>介護保険制度につきましては、在宅での介護でも施設に入所しても、どちらもどうしてもお金が掛かってしまいます。既に介護保険をお使いの方かもしれませんが、介護保険はご本人の所得に応じて、かかった費用の1割から3割をご負担いただいている状況です。それから、対象になるかどうかわかりませんが、要介護3以上の方を6カ月以上お家で介護されている方を対象に、1カ月3,000円という介護者手当を支給する事業もございます。また、こちらにも条件がありますが、紙おむつを支給する事業もやっております。</p> <p>介護保険サービスにつきましては、既にケアマネジャーさんがついてご相談されているのかもしれませんが、施設を利用するにしても減免の制度などがございますので、ケアマネジャーさんにご相談していただきながら、それでもわからないことはプラザけやきの長寿介護課介護保険係の方にご相談いただければと思います。</p> <p>お達者年齢のことも出ましたが、皆さんが健康に過ごして介護予防に努めていただくことで、介護のお世話にならない生活が大切だと思います。そうしますと、皆さんからいただいている介護保険料も、もしかしたら低くなるというようなことに、将来的には繋がっていくかと思っておりますので、食事・運動・社会参加ということで、ご自分の役割を持ちながら元気に過ごしていただくのが一番理想かなと思っております。</p>	健康福祉部
3 幸福	福祉	・子どもの出生率が減り、高齢者が多くなり自宅介護や施設入所など、どちらも今後大変になると思います。特に自宅介護は大変になるので、もっと市の補助を大きくしたらどうか。	<p>自宅介護が必要になった場合、介護保険サービスを使われている方が多いと思います。国の制度の中で動いていますので、自己負担であったり、サービス内容であったりは、なかなか難しい状況ですけれども、介護保険料につきましては、市独自で金額を定めておりますので、皆様一人ひとりが健康増進や介護予防に取り組むことで、先ほどのお達者年齢にも関係してきますが、いずれは介護保険料に反映されるような状況になってまいります。</p> <p>介護保険サービス以外では、市独自の高齢者福祉サービスがあります。対象者は限られてしまいますが、例えば要介護3以上の人を自宅で6カ月以上継続して介護している方には、1カ月3,000円という介護者手当を支給しています。また介護4以上の方で市民税非課税の方を対象に、紙おむつ支給事業もやっております。ケアマネジャーさんに確認・相談していただくか長寿介護課にお問い合わせいただければ、対象の方につきましては支援させていただきます。</p> <p>介護保険事業の運営にあたっては、皆様が元気でいただくことで費用も少なく済みますので、直接的な範囲ではありませんが、健康増進に取り組んでいただくということを認識していただければと思います。</p>	健康福祉部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
3 幸福	福祉	・高齢者の介護支援の充実について	国において、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築が示され、本市においても高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止等を図るため、本人と家族、保健・福祉・医療関係者、地域等が連携して取り組むことが必要と考えています。	健康福祉部
3 幸福	福祉	・子どもへのメリットは良いと思いますが、高齢者へのメリットも考えてほしい。	高齢者福祉の一環として敬老事業に取り組んでいます。100歳を迎えた方への市長訪問によるお祝い金の贈呈、敬老会開催（市主催集合型式）により多くの高齢者をお招きし、長寿の祝福とこれまでの地域貢献に敬意を表するとともに、記念品を進呈しています。また、各種予防接種費用の補助も行っており、令和8年度からは新たに運転免許返納者や75歳以上の方等を対象にコミュニティバス運賃の無料化も検討しています。今後も高齢者の皆様への支援を継続してまいります。	健康福祉部
3 幸福	福祉	・高齢化の制度を詳しく知りたい	高齢化を見据えた支援制度の代表的なものとして、介護を必要とする高齢者（65歳以上）や、加齢に伴う心身の変化に起因する病気によって介護が必要となった方（40～64歳）を、社会全体で支える「介護保険制度」があります。要介護（要支援）認定を受けた方が、居宅サービスや施設入所を利用できます。また、生活機能の低下がみられる方（65歳以上）に介護予防と生活支援サービスを提供する、市の事業もあります。その他、制度ではないですが、介護予防に関する事業や出前行政講座における介護保険制度に関する事など各種メニューがありますので、ご活用いただけたらと思います。	健康福祉部
3 幸福	スポーツ	・スポーツ文化について、施設の設置について詳しく聞きたい。	スポーツ文化施設の設置についてですが、市の公共施設については公共施設等の総合管理計画に基づきまして、既存の施設をできるだけ有効に使うということで、長寿命化を進めています。新しく施設を設置するところにつきましては、今進めているのが堀之内体育館を今年度取り壊して、新たな体育館の建設を進めております。こちらは、令和9年度中に完成予定でございます。それ以外の施設につきましては、例えば文化会館アエルにつきましては、いろいろな設備を改修することによって長寿命化を進めております。また、先ほど市長の説明の中にもありましたが、小中学校の体育館に空調設備を設置する事業を進めている状況でございます。	教育文化部
3 幸福	スポーツ	・総合体育館もかなり老朽化しているが、整備などは考えていますか。	総合体育館は、令和5年3月に策定した第2次菊川市スポーツ振興基本計画において、「市民総合体育館は市の屋内スポーツ施設の中心的な施設として大規模改修を計画的に行ってまいります。」という方針を示しているところであり、令和9年度から大規模改修に向けた検討を進めてまいります。	教育文化部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
4 快適	駅北	・ 駅前の開発について詳しく知りたい。 ・ JR菊川駅と駅南北自由通路が完成するに当たり、駅北地区の今後の開発の予定について	駅北で面的整備をしたいということで進めている部分で、面積は約12ヘクタールあります。少し傾斜がある地形で、農地や山がある土地になります。北口ができますと駅から半径500m以内ということで徒歩圏になります。現在民間の店舗が進出しているエリアには、食品を売っているスーパー、ホームセンター、電気屋、100均一、今では医療機関もできていますので、普段の生活には困らない状況になっています。その北側の土地になりますが、こちらについては地元地権者が50人ほどいらっしゃいます。現在、地元と勉強会を開いておりまして、民間の力を借りた区画整理事業について整備方法を検討しております。令和8年度ぐらいには準備組合を作って、事業に入っていきたいと考えております。	建設経済部
4 快適	駅北	・ 駅北開発、新しいまちづくりのイメージ像は。ワクワクする取り組みは。	駅北開発のイメージと言いますと、やはり住宅系の開発が即していると考えておりますので、まちづくりについては地元の勉強会の方で検討しまして、検討結果についてはホームページの方に情報を挙げさせていただいておりますので、一度ご確認くださいればと思います。なるべく早く組合施行で事業化しまして、工事が始まってくれば一括で対応してもらい3年から4年で完了できるかなと思います。	建設経済部
4 快適	駅北	・ 駅北開発の構想について、国1までの道路は。	駅北開発を実施するにあたっては、駅北構想というのを平成28年頃から作っています。朝日線のアンダーパスから国道1号に繋げてほしいという希望はいただいております。それについて、駅の北側にマンションが3つあって、そこから北へ延びる道路を16mで作ってございます。そこをまっすぐ北に抜ける道は、12ヘクタールの中に整備していきたいと考えています。また、その先については、やはり国道1号までは長いものですから将来構想の中で検討してまいりたいと思います。	建設経済部
4 快適	駅北	・ 駅北開発構想 具体的な案は？ ・ 菊川駅北口に飲食店ができるなら、どんなお店ができるのか気になった。	駅北構想を作る中で、短期・中期・長期計画という形で事業を進めております。短期計画は菊川駅の橋上駅舎と北口駅前広場をつくるのが短期計画で、こちらは行政が実施する仕事になります。令和8年の3月に南北自由通路ができますと駅南北が24時間行き来できるようになり、駅も橋上駅舎化されることになります。 中期計画につきましては、駅北の宅地開発で約12ヘクタールほどの面積がございます。こちらには地権者が約50人いらっしゃいますが、令和4年度頃から勉強会ということで話し合いを始めて、どんな形にするのか青写真ができてきた状況です。 長期計画につきましては、駅北からまっすぐ北に上がっていく山の中を何とかしたいという思いはありますが、そちらのプランについては現時点で具体化はしていない状況です。 市は、これまで区画整理を10ヶ所ほどやっけて、最後にできたのが菊川警察署の付近の宮野西という組合施行の区画整理事業で、市が技術支援と事務支援をして十数年かけて30.7ヘクタールを整備しました。かなり長期で事業費もかかる事業でしたが、今回のやり方としましては民間の力を利用する整備方法で、工事が始まってしまえば3年程度で一気実施してしまう工事のやり方で考えています。12ヘクタールですと、1区画50坪程度として300～400戸程度の家ができると思います。ただ、住宅だけでなく商業施設や集合住宅も計画に入れておりますので、地権者の皆さんと協議しながら、令和8年度ぐらいには準備組合を設立しまして、事業化に向けて進めていきたいと考えています。	建設経済部
4 快適	駅北	・ 西方地区(堀之内小周辺)に芝生の公園が欲しいです。	宅地開発をしますと、全体の3%ぐらいを緑地として残さなくてはならないというルールがあります。菊川市内には約60ヶ所の公園がありまして、都市公園であったり農村公園であったり色々な公園があります。今回、開発をすることによって緑地を生み出すこととなりますので、その中で西方地区に公園を作ることは可能かと思っております。面積的にはそんなに大きな公園ではありませんが、少しお金を投入することで大きな公園もできると思いますので研究していきたいと思っております。 公園には遊具があつたりしますが、今はどちらかという芝生の公園を作るなど、緑化を推進するような流れもありますので、それらを鑑みたくて整備していきたいと考えております。ちょっとまだ時間がかかる事業ではございますが、菊川市の未来のためには必要な事業だということで進めていきたいと考えております。	建設経済部
4 快適	駅北	・ 駅北広場のオープニングイベントを何か考えているか。	駅のオープニングイベントですが、3月末頃に開催したいということで現在調整しております。行政的な式典、市民が見に来ていただく催しを考えている段階でございますので、こちらについては概要等が決まりましたら、皆さんへ周知していきたいと考えております。	建設経済部
4 快適	駅北	・ 菊川駅北側の商業施設の予定はあるのか。	現在、駅北で新たなまちづくりを検討しており、区画整理事業などについて、勉強会等を行っております。その中では、商業施設の話も出ている状況ですが、駅北側地域での具体的な商業施設の予定はございません。	建設経済部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
4 快適	駅北	・菊川駅北開発にあたり、創価学会をどうするつもりか教えてほしい。	当該施設は民間施設であり、市が当該施設の方向性を直接示すことはできません。	建設経済部
4 快適	菊川駅	・JR菊川駅及び駅南北自由通路の開通により、駅周辺の施設の導線はどうなるか？	<p>駅前広場の導線につきまして、南側の広場については横断歩道に向かってそのまま南へ下っていく形を考えております。その他については大きな変更はございません。現在、工事の関係で一般車両の送迎エリアに制限をかけておりますが、こちらについては原状復帰をしつつ、若干広くなる形で考えております。南北自由通路は令和8年3月に完成しまして、ロータリーの一般車両送迎エリアの復旧については令和8年9月頃までかかると思っております。</p> <p>駅の北側につきましては、南側と同じく駅前広場ができます。そちらもタクシーや送迎バス、一般車両の送迎エリアを作りますので、そちらができることで南側の混雑が解消されると思っております。また、駅から北へ延びる道が16mできておりますので、そこが一つのメイン道路になります。将来的には国道1号まで繋がるという可能性を残して、駅北開発で整備する住宅地の中に幹線道路を整備し、動線として将来北へ繋がる道として残していきたいということで考えています。開発についてはまだ時間がかかりますが、現在地権者の方と話し合いを進めていますので、その中で位置付けをしていきたいと考えています。</p>	建設経済部
4 快適	菊川駅	・新駅舎内には店などできるのか。	橋上駅舎部に自由通路から出入りができるコンビニが設置される予定です。	建設経済部
4 快適	治水	・河城地区センター周辺道路の浸水対策を進めていただきたい。水害のとき、地区センターが避難地にできない。	河城地区センター前の浸水被害ですが、昨年度の市政懇談会が終わってから自治会長さんとお話をさせていただいて、村田建設さんの前の歩道部分については、県で側溝を一部追加していただきました。ただ、吉沢川の浚渫もしていかななくてはならないとか、合流部のこちらから排水をする部分には暗渠もありますので、やはり浚渫しないと良くならないということで、県と話をしながらどんな形にするか協議中でございます。国は浚渫をするにあたって浚渫債という有利な制度を活用することでいけるんじゃないかと、今協議を進めている段階でございますので、また整いましたらご連絡をさせていただきます。	建設経済部
4 快適	治水	・台風15号で西方川も氾濫したが、今後遊水地としての田んぼが減る中、菊川市としての対策は？	<p>西方川の関係につきましては、下流まで改良工事が終わっていますが、馬場井堰から新幹線までの区間については、地元と協議しながら調査設計を進めているところです。現在は、図面がだいぶできてきた状態で部分修正に入っていると聞いておりますので、設計が終われば事業化をして工事が始まることになろうかと思います。</p> <p>西方地内の災害時の状況ですが、堀小周辺で湛水するということは把握しておりまして、大雨の際に堀小のグラウンドを一気に水が流れる状況を直接現場で確認しています。この地域に調整池を作ることは難しいのですが、一つの案としては、岳洋中で校庭貯留ですが、2,500㎡の水を一時的に溜める整備しまして、この校庭貯留はどうかという検証をしている段階でございます。西方地区の下流になる菊川西中についてもちょっと心配な部分がありますので、黒沢川流域の治水事業と並行しながら、調査研究を進めていきたいと考えています。まだ具体的にどういう形になるのか言える状態ではございませんが、やはり水を流すためには下流の排水量がしっかりしないと流れませんので、一番の大元である菊川の河道掘削を一生懸命国の方をお願いしまして、本川の流れを良くすれば上の方も流れやすくなりますので、そちらも市長と共に進めております。</p>	建設経済部
4 快適	治水	・治水について、ため池の改修をしてほしい。	<p>ため池につきましては、過去に老朽化しているため池を健全に守る対策をしまして、水を流すところを整備するなど、ある程度しっかりしたいということで進めていきましたが、今後大きな地震が来ることが予測されていることから、ため池の防災強靱化を進めています。市内に39池ほど改修が必要なため池がありますので、それらの池の整備を進めております。</p> <p>今年度から詳細設計に入りまして、39池のうち県が30池を整備してくれるという約束をいただいております。市が残りの9池を整備するというので進めております。西方地内にもいくつかの池がございますが、重点的に予算を配分していただけるとのことです。ので、整備を進めていきたいと考えております。</p>	建設経済部
4 快適	治水	・河川の氾濫について、国や県と連携をとってほしい。	河川の氾濫の治水対策等について国・県と連携をとって取り組んでいるところであります。本日も国・県・市で特定都市河川の件で協議をしていましたが、それ以外の河川につきましても、研究していかななくてはならないと考えております。吉沢川につきましては県が管理しておりますので、県と連携していきたいと考えております。	建設経済部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
4 快適	治水	<ul style="list-style-type: none"> ・菊川市南部地域の浸水対策について ・浸水対策、遊水地(菊川本流)などについて 	<p>菊川本川の能力を上げるための河道掘削や県の管理河川の改修など、国・県と連携する中で進めてまいります。また、田んぼの貯水機能の向上、森林がもっている保水力の発揮や農業用ため池の調整能力の活用、その他市管理の排水路の浚渫など関係機関で協力して進めてまいります。これらについては特定都市河川黒沢川の計画と並行し研究していきたいと考えております。</p>	建設経済部
4 快適	道路	<ul style="list-style-type: none"> ・農村部周辺の道路の管理(草刈等)について 	<p>川や道路などの草刈りの関係は、今日も地区長さんの話にあったように苦情が一番多い内容です。草刈り機につきましては、河川の草刈り機を、道路でも使えるように検討しております。また、県のリモコン式草刈り機を、来年から1台市に貸していただくことができないかなど県と打合せしています。自治会や河川協に貸し出すことを目的に設置するものでございますので、機械を活用していただきたいと思います。また、ご自分の土地の隣接部分については、大変申し訳ないですけど引き続きおやりいただいて、誰も刈っていただけない場所につきましては、建設課にご相談いただければ可能な限り対応していきたいと考えています。</p>	建設経済部
4 快適	道路	<ul style="list-style-type: none"> ・台風のとくに、菊川西中前の道路に水が溜まってしまふことへの対策の計画はあるか。 	<p>菊川西中前の道路は、県道ですので県管理ということになっております。昔から頻りに水がそこに流れ込むことがございまして、主な原因は西中のグラウンドが大きな面積であります調整池が設置されていないため、そこに降った雨水が県道の方に流れて、東名高速道路の下のボックスカルバート水路に集中して流れるようになっております。過去には小さい水路ですが、水路を追加させていただいて、昔より少し頻度は減ったかと思っておりますが、雨の降り方が異常な場合は溜まってしまふということがございますので、県の方にはお伝えさせていただきたいと思っております。</p> <p>また、学校の校庭貯留の話がありましたが、西中の場合は校庭貯留をしてしまふと、校庭が避難地になっておりますので、避難地として利用しにくくなるという状況もありますので、両面の中で今後考えていきたいと思っております。</p>	建設経済部
4 快適	道路	<ul style="list-style-type: none"> ・岳洋自治会の東側の掛浜バイパスの冠水について 	<p>掛浜バイパス東側の土地に遊水池を整備し、約3万8千トンの水を一時的に貯留したうえで、大型排水管を通じて流量を調整しながら排水する計画を進めています。併せて、国により菊川本川の河道掘削が進められており、水の流れが改善して水位が低下するなど効果が見られています。黒沢川流域については水管理が難しい区域であり、これまで調整池を設置してきましたが、特定都市河川の指定に伴い、調整池整備基準を「7年に1度の降雨規模」から「10年に1度の降雨規模」に引き上げ、より大きな調整池を整備する方針に変更しています。また、流入水を抑制するため、川西地区で田んぼダムの取組を進めており、約6.76ヘクタールの水田で約1万7千トンの水の貯留が可能となる見込みです。</p> <p>このように、遊水池整備、河道掘削、調整池基準の強化、田んぼダムの活用など、複数の治水対策を総合的に進めています。降雨の極端化が進む中、引き続き必要な対策を講じてまいります。</p>	建設経済部
4 快適	道路	<ul style="list-style-type: none"> ・掛浜バイパスのJR越えを早期にお願いしたい。 ・道路整備要望として、運動公園から西側の道路整備を進めてほしい。 	<p>掛浜バイパスの整備状況につきましては、今年度の3月末に南の方の市施工区間が供用開始となります。掛浜バイパスの位置づけとしては、合併を機に菊川町と小笠町を一体としてまちづくりを進めるという意味合いで整備を始めたものでございます。菊川町と小笠町の間は部分はずいぶん前に繋がっておりますが、その後南の方に進んで小笠南地区の高橋地内が開通することになり、あと県道の施工部分が約1キロ残っております。そちらについては、ほぼ用地買収が終わっている状態でございますので、工事の方に本格的に着手できると思っております。</p> <p>掛川浜岡バイパスにつきましては、掛川という名前がついていますので掛川から菊川へ繋がる道ということで考えています。市としましてもこれが最重要路線で、菊川運動公園からつま恋のところにある後山トンネルまでの区間が最後に残った区間になりますので、事業化していきたいと考えております。令和6年度から掛川市と菊川市で勉強会を開催しつつ、交通量調査や費用対効果の調査をかけて、その結果については今年度中にまとめていきたいと考えております。掛浜バイパスについては、もうこの区間しか残っておりませんので早急に調査研究を進めて、事業着手するに当たっては誰がどんなお金を使ってやるかっていうのを決めないと進みませんので、そこをこれからしっかりと詰めていく予定です。</p>	建設経済部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
4 快適	道路	・ 今月9月の台風によりダイソー前の道路が冠水したが、今後どのように対策するのか。	道路の管理につきましては、ご不便をおかけし大変申し訳ございません。たしかに市内には白線が消えている箇所が見受けられることがあります。市で管理している市道につきましては、私たちが対応すべきものですが、最近の物価高により、毎年同じ予算をつけても、白線を引ける量がだんだん減ってきております。そのような関係で線が消えている部分もございますが、今年度も予算のある限り実施してまいります。引き続き議会等に説明し、予算の確保を図っていきたくと考えております。また、横断歩道につきましては、警察の所管になりますので、そちらへ要望をしていきたくと考えております。	建設経済部
4 快適	道路	・ 道路を新しくつくるだけでなく、道路の管理にも目を向けてほしい。いたるところで道路や横断歩道の線が消えている。高齢者の人が運転しているので、間違えやすい。	9月の台風では、ダイソーの前の道路以外にも、何ヶ所か冠水した箇所がございます。一時間でおよそ127mmの降雨量だったということで、その雨量を排水できる側溝は設計上入れておりませんので、一時的に冠水してしまうのはやむを得ないかと思っております。ただし、その後いつまでも冠水するのではなく、さっと水が引けるように対策をとらなければならないと思っておりますので、それについては、菊川や牛淵川など太い河川の河道掘削を国交省の方でしっかりやっていただく。そして先ほど校庭貯留の話もありましたが菊川西中の辺りでも一旦水が出たりしますので、校庭貯留ができればと考えておりますが、現在岳洋中学校で実証実験を兼ねて実施しておりますので、その結果をもとに研究していきたくと考えております。	建設経済部
4 快適	道路	・ 市境に「菊川市」の案内看板があるが字が脱落しているものが多くある。修理できないか。	市境の看板というのは、多分県道についているものかと思っております。そこが見えにくいとか、案内看板がちょっと剥がれているとか、特に最近は信号機に付いている看板がだいぶ傷んできている。そちらについてはほとんどが県の所管になります。土木事務所には既に伝えてあるものもございまして、信号機の看板については今年度いくつか対応していただくと聞いております。その他の看板についても、袋井土木事務所の方をお願いしてまいりたいと思っております。	建設経済部
4 快適	道路	・ 都市計画道路の整備状況について	都市計画道路については、令和4年に見直した菊川市都市計画道路整備プログラムを基に順次整備を進めており、令和7年3月末時点で、都市計画道路39,200mのうち26,570m（67.78%）の整備が完了している状況です。 現在、都市計画道路青葉通り嶺田線（市道井矯堂線）を嶺田地内のポエム新月から下平川地内の遠州夢咲農協本店までの960mを道路局と街路の2事業で整備を進めております。来年度は仮堤防設置や仮設橋を架ける計画で、完成は令和12年度頃を予定しております。全体の開通は令和15年頃の予定です。 また、都市計画道路西方高橋線につきましては、県道掛川浜岡線バイパス高橋工区の市施行区間として整備を進めてきた、市道赤土高橋線（全長約1.1km）が令和8年3月に全線開通いたします。菊川運動公園から掛川へ繋がる西方工区については、令和6年度から掛川市と菊川市で勉強会を開催し、事業着手に向けて、調査研究を進めております。	建設経済部
4 快適	道路	・ 250号（県道菊川停車場伊達方線）への接続は。	西方高橋線については、広域ネットワークを形成する都市計画道路としての連続性の向上を図るため、掛川市と連絡するよう後山トンネル手前で主要地方道掛川浜岡線と接続するルートに変更したことから、令和3年の都市計画決定により、250号線（県道菊川停車場伊達方線）への接続を廃止しております。	建設経済部
4 快適	道路	・ 住宅地増加に対する道路整備について	市道については毎年7月に地元要望の受付をしておりまして、そこで自治会から要望があれば、要望箇所を確認及び審査し、予算の範囲で優先順位をつけて整備を進めております。ただし、地元合意や地権者承諾が取れていなかったり、予算に限りがあったりするため、必ずしも道路整備が出来るとは限らない状況をご理解願います。	建設経済部
4 快適	社会資本	・ インフラについて、太陽光発電所や畜電所などとの連携は考えているか。	災害時については、中部電力株式会社や中部電力パワーグリッド株式会社にて、電力供給施設の防災対策や災害時における電力供給の確保に努めることとなっております。また、本市では発電機や蓄電池を備蓄しており、その他に、市内業者と協定を締結し、発電機やガソリン等の確保に努めております。	危機管理部
4 快適	社会資本	・ 放置盛り土をどうするのか。	放置（不適切）盛り土については、宅地造成及び特定盛土等規制法を所管する県が指導を行うこととなりますが、市としても、県と情報共有を図りながら、がけ崩れや土砂の流出による災害の防止に努めてまいります。	建設経済部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
4 快適	社会資本	・都市計画の現状について聞きたい。	<p>少子・高齢化が進むなかで、これまでの人口増加や経済成長を前提とした拡大志向から、持続可能でコンパクトなまちづくりがより強く求められています。本市では、都市計画を補完・具体化する菊川市立地適正化計画を令和3年に策定しており、JR菊川駅周辺、中央公民館周辺及び東名高速道路菊川IC周辺を、居住や都市機能を誘導する区域に定め、公共交通ネットワークの構築による集約型都市構造の実現を目指しております。</p> <p>現在、社会環境の変化や菊川市第3次総合計画等の上位計画との整合を図るため、都市計画の基本方針となる菊川都市計画マスタープラン及び菊川市立地適正化計画の改定を同時に進めており、今後は、これらの計画に則して都市計画を推進してまいります。</p>	建設経済部
4 快適	施設	・水道、下水、市庁舎などのユーティリティー・箱物の老朽化に対しての考え方を明示されたい。	<p>施設全体の大きな考え方としましては、公共施設の総合管理というものがございませぬ。基本的な考えとしては、そもそも施設は非常に管理費がかかるということで、不要なものはなるべく減らしていく。それから使えるものは長寿命化をしていくこととなります。</p> <p>本庁舎では外壁工事をやっておりますが、大体築42、3年が経過してきて、これをあと40年ぐらい活用したいということで改修工事をやっております。ただ一方で、本庁舎は、災害時に何か不具合が出たり倒壊するような判定ではございませんが、やはり危機管理の部分はしっかりしなければいけないということで、本庁舎の北側に体育館と併設した災害対策本部棟を整備します。</p> <p>その他の建物についても、それぞれのところで必要なものをいっぺんに全部長寿命化をすることは、なかなか難しいこととございますので、順番を決めながら有効利用していくという方針でございます。</p>	企画財政部
4 快適	環境	・製品プラスチックごみの分別について ・組成別に一步踏み込んだ分別への取り組みについて	<p>製品プラスチックの分別回収につきまして、来年度4月から開始することで各地区を回らせていただきました。今まで燃やしていたプラスチック製品を資源として回収することで、燃えるごみの量が減り、燃えるごみが減ることでごみ処理施設の負担軽減につながり、燃えるごみから出る残渣が減ること最終処分場の延命につながります。また、プラスチック製品を燃やすことで二酸化炭素が発生しますので、地球温暖化の一因となる二酸化炭素排出の削減にもつながります。</p> <p>皆様には、2週間に一度容器包装プラスチックを出していただいておりますが、同じ黒いネットに50cm未満のプラスチック製品（フォークやスプーン、バケツ、お風呂の桶・椅子など）も入れていただくこととなりますので、御協力をお願いします。</p>	生活環境部
4 快適	環境	・2030年に向けて、サーマル回収率低減への数値目標はありますか	<p>サーマル回収率の低減ということですが、以前は環境資源ギャラリーにある「たまり～な」のプールを廃プラスチックを燃やした熱で運営していたこともありますが、今はやめてしまっています。理念としては中々高い理念かと思えますし、現実的には難しい部分もあると思えます。</p>	生活環境部
4 快適	環境	・経済、環境の両立での事業産業の計画はありますか。	<p>本市では市域の温室効果ガス削減計画である『菊川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）』を策定しており、事業者と連携し2050年度カーボンニュートラル達成を目標とし、事業者に期待される緩和の取組事例等を掲載しています。</p> <p>また、小笠高校園場跡地については、工業用地化を目指しております。開発については公募により事業者を選定する予定です。要件として環境への配慮などを考慮して選定することが考えられます。</p>	建設経済部 生活環境部
4 快適	環境	・ごみ処理について、掛川たまり～なの利用は。	<p>「たまり～な」の施設内にはプール、温浴施設がございましたが、令和7年7月からはプール、温浴施設部分に「MIROCCO（屋内遊び場みろっこ）」が新設されました。隣接する、掛川市・菊川市ごみ焼却施設（環境資源ギャラリー）におけるごみ処理と「たまり～な」は直接関係はございません。</p> <p>環境資源ギャラリーでは令和7年4月にごみ焼却施設の稼働を停止し、可燃ごみを外部に搬出し処理しており、令和12年4月稼働予定の、新廃棄物処理施設の建設に向け業務を進めております。</p>	生活環境部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
4 快適	行政	・エヴァンゲリオンやバイクの集会などイベントを増やし、町の魅力アップをはかるのは大切だと思う。	<p>本日、菊川市の表彰式がございまして6個人と7団体の方々を表彰させていただきました。その中には、棚田関係の方々、それから田んぼアートの方々がいっぱいでした。そういった方々が長年努力されて、交流人口などを増やしてくれています。こうした市民が主体的にやっただけの活動は、本当に頭が下がるしありがたいことだと思います。最近、バイクのイベントを市民主導で、市が何も関わらなくて予算も何もつけなくて動いてくれまして、多くの人に来ていただき経済効果が発生するようなことにつながっています。これについては「市民のやりたい、やってみたい」ということを、行政ができる範囲で少しでも支えることができるように、しっかりと取組としてやっていければというふうに思います。</p> <p>いずれにしましても、菊川市は全国に行けば、「きくかわ」と言われてしまうように、なかなか覚えていただけないところもございまして。「きくかわ」を少しでも有名できるように、いろんなところで発信させていただければと思いますし、その中で少しでも菊川市を選んでもらえる方が増えていただけるように、しっかりと努力していきたいと思っておりますので、皆様方の応援をよろしくお願いいたします。</p>	総務部 建設経済部
4 快適	行政	・固定資産税が高いのではないかと。	<p>固定資産税が高いということではございますが、これは市独自ということではなくて、どこの自治体でも同じ基準で課税されているものでございます。特に加茂地区は区画整理をやりまして、土地の評価が上がっていることもございますので、10年前に比べれば高くなっていることはありますが、それだけの資産価値があるということで、応分の負担をいただいている制度でありますので、ご理解をいただきたいと思っております。</p>	企画財政部
4 快適	行政	・10月の首相交代により国政の方針が大きく変わりました。菊川市政もこれにしたがって政策を実施することになると思います。第3次総合計画の策定へ影響、見直しなどは具体的にありますか？特に外国人政策についてお伺いしたいです。	<p>内閣が変わって経済対策が検討されているところでありますが、基礎自治体としましては、基本的には住んでいる住民のことを第一に考えてやっておりますので、今大きく直接影響することはないと思っております。ただし、いろいろ政策によって観光が減ったりとか関税問題とかがありますが、基本的に国の政策による大きな方向転換というのは、今のところないかと思っております。ただ、国の方で予定されている経済対策などがありますので、それを自治体がどのように活用していくのかということが、今後の課題として出てくると思っております。</p> <p>市内の外国人住民の状況ですが、9月末現在の菊川市の人口が46,846人、その内外国人の方が3,993人、比率にして8.52%で、県内で吉田町に次いで2番目となります。国籍としましては34カ国で、一番多いのはブラジル人で約半分、フィリピン人が4分の1、その後にはベトナム、インドネシア、中国となっています。旧町で見ますと小笠が15.23%で菊川が5.6%、地区別で一番多いところは平川地区の19.58%となります。昨年と比べて日本人は445人の減、外国人は40人の減でございます。</p> <p>多文化共生につきましては、やはり外国人の方と共生していく必要がある状況だと考えています。実際に外国人の皆さんが、近隣の工場や農業の技能実習生、菊川病院でも看護助手としてインドネシアの方がお勤めいただいております。そうした、いろいろな仕事の担い手としてこれからも十分考えられると思っておりますので、いかに日本人と同じように生活をし、仕事をしていけるかということが大事になると思っております。</p> <p>市では地域支援課に外国人相談窓口を設置して通訳や翻訳に対応しています。市内に転入される中にはお子さんもおりますので、お子さんが日本の学校に行く前に、日本語を少しでも習得してもらおう初期支援として「虹の架け橋教室」を御前崎市、掛川市と3市で共同運営をしています。また、本市に引っ越してきた方向けに、ゴミの出し方や交通安全、子育て、税金、保険などについて説明するオリエンテーション動画を作成しまして、日本の習慣などを理解をしていただくよう努めております。</p>	企画財政部 総務部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
4 快適	行政	・計画を実行するのは職員が主体となっていくと思う。職員の理解や、やる気はどうか？	<p>来年度から第3次総合計画が始まります。計画の策定自体は、策定委員会など我々上層部で会議をする中で協議してきましたが、これをいかに職員に伝えていくかが大事になると思います。これにつきましては、計画の中身、先ほど基本目標を5つ説明させていただきましたけれども、自分がやっている仕事がどのような効果を発揮して、どの目標に向かって繋がっていくのかということ、しっかりと理解しておかないとこの計画自体が足りなくなってしまうので、部下にしっかりと理解をしてもらうように伝えていくのが、我々上司の役目だと思っております。</p> <p>職員のやる気はどうかということですが、5つの基本目標ということを行いましたけど、その下にはさらに目標がぶら下がっておりまして、その下にまた更に自分たちが実行していく事務事業という細かい取組に繋がっています。それらの取組が、それぞれ自分たち職員が設定する、その年に達成していく目標に繋がっていくものですから、個々の職員がその目標達成に向けてどのように取り組んでいけば達成できるのかということ、個々の職員がそれぞれ段取りをつけて進めていきます。それにつきましては、やる気と言いますか、もちろん責任を持ってやっていくようになるかと思っております。</p>	総務部
4 快適	行政	・活力ある菊川市であり続ける取り組みについて ・昨年よりさらにプレゼンが分かりやすかったです。動画もGOOD！継続して改善が進む市の姿勢が伝わってきました。	<p>今日の市長の話全てが、活力ある取り組みに向けてということでございます。とにかく、人口は必ず減っていきます。そういう中で、減った中でもどういうふうに維持していくかということで、人口を確保したり、あるいは減るのを抑えていったり、やはり人がいないと活力は出てこないため、それをこれからの総合計画の中でも取り組んでいきます。</p>	企画財政部
4 快適	行政	・ふるさと納税倍増に向けた具体的な取り組みとは何か。	<p>ふるさと納税につきましては、これまでに一番寄附をいただいたのが令和元年度で、金額が4億8,400万円ほどになります。そこからだんだん下がっているのが現状ですが、なぜこの時期が多かったかといいますと、さわやかな商品券があったからです。菊川以外のお店でも使える非常にお得な商品券でしたが、国の制度変更により地場産品基準に該当しないこととなり、返礼品として取り扱えなくなりました。また、今年の9月末にはふるさと納税に対するポイントの付与が規制されたので、9月までの追い込みの寄附が全国的に多かったということでございます。</p> <p>令和6年度の結果は9,500万円ほどでございました。これを倍にすると約2億円ということになりますので、2億円を目指して進めているところですが、なかなか厳しい状態でございます。現在菊川市で一番多く出ている返礼品が「枕」になります。枕は一度買ってしまえば、しばらく買わなくても大丈夫になります。食べ物だと「美味しかったね」、「また買おうね」ということになるのですが、そこがなかなか難しいところです。現在もメロンやイチゴなど食べ物の返礼品も頑張っていますが、やはりヒット商品を開発しないとなかなか難しいと考えています。今後の見通しとしましては、浜松市の食肉センターを閉鎖され菊川市に集約されることで県内唯一の施設になりますので、その商品を返礼品に充てることできるようになります。現在いくつかのお店をお願いして、菊川市の返礼品として結び付けようとしているところです。現時点では浜松のセンターが閉鎖されていませんが、来年度中には持ってこれると思いますので努力していきたいと思っております。</p> <p>あとは、どんな形でPRするかというプロモーションです。やはり知名度が低いと見てくれないということで、ふるさと納税のホームページを検索すると何百何千という返礼品が出てきますので、1ページ目、2ページ目といった上位に菊川市の返礼品を持ってくる方法を考えているところでございます。また返礼品のページの見た目が良いと「美味しそうだな」と思ってもらえますので、そちらの加工も進めているところです。</p> <p>とにかくヒット商品が必要だということですが、機械の部品などを作っている工場はありますが完成品を作られている事業所がないということで、何らかのヒット、ホームランを打てる商品開発を努力していきたいと考えております。</p>	建設経済部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
4 快適	行政	・菊川市総合計画の説明を受けたが、終了した第1次、第2次の振り返り(PDCA)は第3次にどの様に活かしているのか。	第1次、第2次総合計画では、コミュニティを活用したまちづくりを進めてまいりました。第2次総合計画が始まる際には、特に人口問題について、当時「地方創生」という言葉が大きく出ており、人口流出に歯止めをかけ、東京一極集中を是正するというテーマで策定したところでした。そうした中で、人口減少対策や子育て施策といった政策について、現状を把握し、第1次総合計画を継承しながら、目標を立て、必要な政策を進めてきたところでありました。 そうした政策・施策の総合的な評価が、ある程度人口に反映されてくると理解しております。子育てしやすい安心安全なまちが総合的に評価され、評価されているところに人が集まることとなります。そうした意味では、令和2年の国勢調査の結果として、菊川市は人口が増加しております。県内で人口が増加した市町は4つだけでした。これは色々な政策・施策を進めた成果だと感じております。	企画財政部
4 快適	行政	・菊川市の取り組みで色んなことに取り組んでいることは理解できる。どの程度の効果があったのか知りたい。	取り組みの成果の中でもありましたが、河道掘削をすると川の氾濫が抑えられ、その経済効果は何十億円の効果があると期待する人もいます。さらに、菊川駅の南北自由通路が3月に開通し、駅北地域に居住地域が増えてそこに若い世代が移り住めば、住民税あるいは固定資産税が増えて市全体の財源となってきます。一つひとつの事業がそれぞれ効果を持って人を呼び、人が生まれ、人が住みよい場所となるものと理解しております。第3次総合計画のテーマは「夢叶う幸せ創生都市菊川」としておりますので、子どもや大人、男女関係なく自己実現ができるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。	企画財政部
4 快適	行政	・市債残高がR5～R6にかけて増えているが、R7以降も増える傾向なのか。	市債残高というのは、借金・借入金の残高になります。令和5年度末には167億円、令和6年度末が170億円ということですので3億円ほど増えています。これは、市が借りたお金を返済する際に国が一部を補填してくれる非常に有利な制度である「合併特例債」が、合併後20年が期限ということで、最後に菊川駅南北自由通路整備等に大きく使ったことで少し増えました。確かに借金は無い方がいいわけですが、大きな事業を実施する際には、その年の人達だけで大きな事業費の全てを負担するのではなくて、ある程度大きなものや20～30年と効果があるものは、世代間による負担の平準化を図る必要がございます。例えば小中学校の体育館のエアコンなどは、長い間多くの年代の人で負担すべきものがあります。そういった対応をしつつ、なるべく借金を減らす方向でやっていきたいと思っております。 ただし、借金をするにしても、返済金を国が半分負担してくれるなど非常に有利な借金の制度もありますので、色々な制度を比較する中で有利な制度を選択していきたいと思っております。借金の総額を減らす、あるいは借金の制度を非常に有利なものを使うなど、なるべく実質的な財政負担が少ないものを選んでやっていきたいと考えております。	企画財政部
4 快適	行政	・市政懇談会が2年に1回となった理由を教えてください。	市政懇談会につきましては、連合自治会とも相談をさせていただき、自治会の負担軽減や職員の働き方改革、若者等が参加する機会の創出について進めていかなければならないということで、隔年開催という形にさせていただきました。これまでは地区開催という形でしたが、今年度からは一般開催としまして、どこの会場でも参加していただけるようにしております。一部からは毎年やってほしいというご意見を伺っておりますが、今年度と来年度につきましては隔年開催となりますので、それ以降の開催方法につきましてはまた検討させていただきます。 また、「若者等の参加」につきましては、初の試みとして今回小笠高校と常葉大菊川高校に伺い、市長から市の取組を説明し懇談をさせていただいたところでございます。	総務部
4 快適	行政	・総計が9年毎の理由について（10年とか区切りの良い計画期間ではない理由？）	令和7年度末に終期となる第2次菊川市総合計画は、9年間の計画期間ですが、第3次菊川市総合計画は8年間の計画期間となります。総合計画の計画期間は10年間の自治体が多いですが、計画期間を8年や12年にする自治体もあります。これは、首長が選挙時に掲げた「マニフェスト」を実現するため、首長の任期と合わせていくためです。菊川市においても市長任期の4年をベースに、中長期的で、社会経済情勢の変動にも柔軟に対応するため、第2次総計で9年間の計画期間とすることで、市長任期と合わせ、第3次総計から任期2期分の期間となる8年間の計画期間とすることとしました。	企画財政部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
4 快適	行政	・ 財政の中期計画、事業計画との連動について	長期財政計画は総合計画に掲げた各施策を着実に実行しつつ、健全で安定した財政状況を維持するため、平成29年度から令和7年度まで計画に沿った額に納めるよう平成29年4月に策定し、その後、新型コロナウイルス感染症の影響や大型事業を反映させるため、令和4年3月に改定し現在に至っています。本市では、総合計画に基づくまちづくりの推進、限られた予算、人材を有効に活用していくことを目的に、総合計画における実行計画、行政評価、予算編成を一連のサイクルで回す「行政経営システム」により連動を図ることで、長期財政計画に示した市債残高や健全化判断比率における指標より減少させること、財政調整基金残高では増加させるよう財政運営に取り組んでおります。	企画財政部
4 快適	行政	・ 水道事業の民営化について、サービスはどう変わるのか。	現在4市で進めている料金窓口の共同民間委託は、事務の効率化を目的とした官民連携事業であり、民営化とは異なるものとなります。菊川市は現在も営業窓口を民間へ委託しており、窓口の共同化によってもサービスが変わることはありません。	生活環境部
4 快適	行政	・ 前例にとらわれない発想、新しい取り組みに積極的に挑戦、前例踏襲や市役所の常識にとらわれない、巧遅より拙速(60点でよい、とにかく進める)。これらの内容を濃く聞きたいです。新規産業の創生創出を基にお願いします。夢叶う幸せ創生都市菊川を目指すために、市長お願いします。	市では合併以後、行政のスリム化・財政の効率化に主眼を置いた行財政改革に取り組み、現在は市が保有する経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報・地域資源）を活用して成果を上げる行政経営を主とする考え方により行政経営推進方針を策定し取り組んでいます。その方針の中で、職員からの業務改善・職員提案制度があり、職員一人ひとりが業務の効率化を意識して、業務の改善や見直し、工夫等の報告によりRPAなどの新たな発想による業務改善が創出されています。また、積極的な営業活動や情報発信によりまちづくりの思いをとどけ、クラウドファンディング型のふるさと納税などのこれまで実施していなかった新しい手法により税収以外の自主財源の確保を図っています。※RPAやクラファンなどの提案を進めるため行政経営推進本部会でテーマとして進める。提案で新しい取組を考える。 新規産業の創出につきましては、出入口減少や高齢化などにより市場規模の縮小が懸念されるほか、人材確保や事業承継がさらに深刻になることが見込まれるため、積極的に相談に対応し、支援していく必要があると認識しています。令和6年3月に産業支援センターを開設し、事業承継・創業支援・スタートアップ誘致などの取組を進めています。具体的には、令和6年度からビジネスプランコンテストを開催しています。令和7年度はアグリテック、フードテック、循環型社会をテーマに新産業の提案を募集し105件のエントリーをいただきました。このような取組を通じ、当市を拠点とする新たな事業創出を支援していきます。産業支援センターの取組の様子は広報菊川にも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。	企画財政部 建設経済部
4 快適	行政	・ 駅北開発構想は良いこと、大切なことだと思うが、私達にとっては固定資産税のアップや、都市計画税の発生のデメリットがあり、駅までの距離短縮のメリットと比べるとマイナスの方が大きい。将来減税など(特に年金暮らしの家庭)の応援はありえるのか。	固定資産税やその他の市税については、地方税法に基づき市の条例で税率などが定めており、菊川市では標準的な税率で皆さまに納めていただいています。一定の条件を満たしている場合は税が軽減されるケースもありますが、市が独自に一部の地域や年齢層に対する減税を行うことは、税の公平性の観点から難しいと考えておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。 減税ではない別の形での支援につきましては、国の物価対応交付金の活用などにより支援を行ってまいります。	企画財政部
4 快適	行政	・ わくわくするイベント（バイクの集結、アエル）菊川市の認知度アップがもっと必要だと思う。	移住・定住を目標としてシティープロモーション等を進める上で、認知度アップは重要なポイントになります。どんなにPRしても菊川市のことを知らない人は、なかなか興味を持ってくれません。菊川市の魅力をPRし、知ってもらう機会の一つとして、わくわくするイベントは重要なことでもあります。こちらは市が主催するだけでなく、市民の皆さんを始め、団体や民間企業などの取組を支援することも大切だと思います。 今年度の菊川市の表彰団体の中には、棚田関係の方々、田んぼアートの方々がいっぱいいました。そういった方々が長年努力されて、交流人口などを増やしてくれています。最近では、バイクのイベントを市民等の主催で開催され、多くの人に菊川市に来ていただき経済効果が発生するようなことにつながっています。「市民のやりたい、やってみたい」ということを、行政ができる範囲で少しでも支えることができるように、しっかりと取組としてやっていければと思います。	総務部 建設経済部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
4 快適	行政	<p>・行政サービスの充実、さまざまな事件、犯罪まがいの事件(例：貧困ビジネス、ソーラー設置)に対応するため、先取りして市独自の条例を作ってもらいたい。</p>	<p>本市における令和4年から6年までの年間の刑法犯認知件数の統計データを見ますと、総数は令和4年が114件、5年が137件、令和6年が142件という状況でありました。本市の防犯対策としましては、菊川警察署や防犯協会と連携し、防犯対策の周知活動に取り組んでおります。</p> <p>また、実際に犯罪が発生した場合には、警察署から要請により菊川市の公式SNSや同報無線により市民の皆様へ注意喚起の呼びかけを行っております。このほか、各自治会からの要望に基づいた防犯灯設置事業の実施、地域安全推進員や市職員による日々の防犯パトロールなど、犯罪抑止に繋がる活動を行っており、今後についてもこれらを継続しながら、市民の安心感を高める取組を引き続き実施してまいります。現時点で新たな条例制定は考えておりませんが、本市では平成22年に犯罪のない明るく住みよいまちづくりを推進するための基本理念を定め、各主体の役割を明らかにし、これらが連携することにより、安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与することを目的に「菊川市防犯まちづくり条例」を制定しております。</p> <p>引き続き、行政、警察、防犯協会、自治会などが連携した活動により市民の防犯意識の高揚を図り、個人と地域全体がつながりを持って、地域ぐるみの防犯活動を推進していくことが不可欠であり、市、市民、自治会及び事業者がそれぞれの役割を果たしつつ、相互に協働して防犯まちづくりを進めていくという方針は変わらないものであります。</p>	総務部
4 快適	行政	<p>・ふるさと納税で「さわやか商品券」をやめたのは何故か。一番人気だったのではないか。</p>	<p>菊川以外のお店でも使える非常に人気の商品券でしたが、国の制度変更により地場産品基準に該当しないこととなり、返礼品として取り扱えなくなりました。</p>	建設経済部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
5 躍動	自治会	・回覧物ペーパー化について、各自治会で統計を取り、紙で必要な家とHP上でいいという家をわけてみてはどうか。（経費削減と資源の有効活用）	自治会文書の量を減らすことについて、全てをいっぺんにペーパーレス化することは難しいところがあると思います。自治会役員の負担軽減ということで、今年から広報紙のページ数を24ページから28ページ増やしました。増やしたページには、今まで個別に配布していた回覧文書について広報紙に集約できるものは集約して、チラシなどの配布物や回覧物を少なくしようということで今取り組んでおります。まだまだ、全てが対応できているわけではありませんが、引き続き取り組んでいくとともに、今ご意見のあったように、ホームページの電子回覧で確認すれば良いという方がいらっしゃるのも事実だと思いますので、アイデアとしていただきまして、そちらも負担軽減に繋がるようであれば、連自治会とも協議をしながら考えていきたいと思っています。 私もペーパーレス化に賛成ですけれども、いろんな形で発信していても市民から見てないと言われることがあります。広報紙、SNS、LINE、dボタンなど色々な形で出してるけど、知らなかった、見ていないと言われる。実際それで苦情が来ることもあります。ここも含めてですが、私はできればペーパーレスに持っていきたいんですけど、なかなか苦労してるということも、ぜひご承知おきいただければと思います。	総務部
5 躍動	自治会	・田舎の近所付き合いや色々な役員をするのが嫌で帰ってこない若者もいる。自治会選出の委員の見直しをしてもらいたい。スポーツ委員や交通指導員、女性の会など必要でしょうか。人手不足の補充だったらやめてほしい。自治会単位で参加がないのに自治会からスポーツ委員の選出は必要でしょうか。	自治会からの役員の選出につきましては、市が事業を進める中で、どうしてもご協力をいただきたい部分についてお願いしているものでございます。確かに小規模な自治会では、役員の選出が非常に負担になっていることも聞いております。例えば隣の自治会と交代で選出するような方法もあるかと思っておりますので、地域支援課や連自治会で少しずつ検討をしていきたいと思っています。 スポーツ委員の皆さんは、昔は各地区で開催していた運動会に自治会単位で参加する中で活動をしていただくことが多かったと思います。現在も各自治会やコミュニティ協議会において、いろいろなスポーツ活動をしていただく中でご活躍いただいておりますので、引き続きご協力をいただきたいと思っています。	総務部
5 躍動	自治会	・自治会未加入者に対する（アパート住人、外国人）対応について市の考えは。 ・目指す方向が分からない。駅周辺は都市感覚なのか。防災で共助が大切なら近所付き合いが大事だと思うがどう考えるか。	自治会未加入者、特にアパート居住の外国人住民について、転入者には自治会加入の案内を行っており、市としても地域のつながりの形成は重要と考えております。防災面でも、最近の災害事例におきましても、地域のつながりや関係性が被害軽減に寄与したと報道されており、自治会活動の役割は大きいものと認識しています。また、外国人住民についても地域の一員として、可能な範囲で自治会活動へ参加していただきたいと考えています。 駅周辺のまちづくりの方向性につきましては、市として住環境整備を進めることで人口増加と税収確保を図り、その成果を市内全体の利益に還元していく方針です。	総務部
5 躍動	自治会	・防犯灯のLED化は、令和7年度で終了となるのですか。	防犯灯のLED化につきましては、今年度の当初に自治会の皆さんにアナウンスしたときは、今年度で終了になる可能性があるとお伝えしていると思います。この件につきましては、物価高騰対策の補助金を財源にして対応しているものでして、それがなくなると、ちょっとLED化の付け替えの事業は一旦終了といたしますか、休止ということになるかと思っております。新しく設置する事業につきましては、今まで通り実施していきたいと思っております。現時点では終わってしまうかどうかについては、はっきり言えないところでございます。	総務部
5 躍動	自治会	・公民館の照明のLED化について、市からの補助は考えていますか。	公民館のLED化につきましては、残念ながら補助メニューがないのが現状でして、公民館の建て替えについては、宝くじ助成などいくつかあると思います。あと公民館などの備品について、よくあるのはお祭りの太鼓を新調したりとか、そういう備品の購入に使える宝くじの助成はありますが、照明器具のLED化については残念ながら対象にならないのが現状です。市としましても、今それについて助成をしてくことは考えておりません。	総務部
5 躍動	自治会	・人口オーナス期での地域の負担はどうなっていくか。 ※人口オーナス：少子高齢化が進み生産年齢人口に対する従属人口の比率が上昇し、社会保障費の負担により経済成長を阻害すること。 （オーナスとは負担、重荷という意味）	人口オーナス期においては、生産年齢人口の減少により、これまで地域活動を担っていただいていた人材の確保が難しくなり、一人あたりの役割や負担が増加することが懸念されます。また、高齢化の進行により活動の継続自体が困難となる地域も想定されます。地域活動の維持には、役員の負担軽減や活動の見直しなど、地域の実情に応じた柔軟な運営が必要になると考えます。市としましても、若者団体と地域活動のマッチングを進めるなど、活動支援や担い手確保のための環境づくりに努め、持続可能な地域コミュニティの維持を図ってまいります。	総務部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
5 躍動	自治会	・公民館のバリアフリー化（トイレの様式化）に対する補助については、現行では対応していない。対応してもらう方法はないでしょうか。	公民館の新築、建替えについては、宝くじ助成により支援を行っておりますが、既存施設の修繕やバリアフリー化を含めた機能向上の支援については残念ながら対象にならないのが現状です。 市内には建築から40年以上が経過する地区センターが5箇所あり、今後長寿命化を図るための大規模修繕を計画的に実施していくことから、しばらくは市有コミュニティ施設整備への予算措置を優先したいと考えておりますので、公民館の修繕等に対する補助制度の創設は予定しておりません。	総務部
5 躍動	自治会	・毎月の配布物についてももう少し何かならないか。例えば、公報？でいつでも聞くことができるなど。 ・市から紙の配布物が多いと思う。紙の配布物は減っているのか。	自治会文書の減量について、全てをペーパーレス化することは難しいところがあると思います。自治会役員の負担軽減ということで、令和7年度から広報紙のページ数を24ページから28ページ増やしました。増やしたページには、今まで個別に配布していた回覧文書について広報紙に集約できるものは集約して、チラシなどの配布物や回覧物を少なくしようということで今取り組んでおります。また、広報紙等のホームページへの電子媒体での掲載、SNS、LINE、dボタンなど色々な形で情報提供を実施しており、情報提供手法の周知にも努めてまいります。 令和5年度は、全戸配布25事業、班回覧110件の配布をお願いいたしました。令和6年度は全戸配布では1事業を廃止、5事業を班回覧移行いたしました。班回覧は20件を広報紙への集約等により削減を行いました。 引き続き市民の民様への適切な情報提供に努めるとともに、文書量の削減など効率性を高めてまいります。	総務部
5 躍動	コミュニティ	・加茂地区センターの改築の件について、防災の面で7,000人の住人の割には質素な建物です。隣接の加茂小学校体育館も古くなり、十分な活動ができません。新築するにはどうしたらいいか。	加茂地区センターにつきましては、建築してから40数年経っているかと思います。避難所につきましては、雨の災害のときや地域が浸水したときの避難先として地区センターを、それから地震のような大規模災害のときは小学校の体育館を避難所として指定しております。確かにキャパシティ的には全ての人を受け入れることはできないかもしれませんが、小学校であれば教室なども活用していきたいと思っております。地区センターの建て替えとなると、なかなかお金が掛かりますので、市の計画ではやはり延命化を図り、なるべく寿命を持たせたいということになります。例えば、今計画をしているのは、できれば来年度ぐらいに地区センターの屋根の防水対策をするなど、建物にとって非常に大事な部分を少しずつ直して、少しでも長い期間使えるようにしていきたいと考えています。	総務部
5 躍動	コミュニティ	・コミュニティについて、高齢化で組織が先細りになっているがどう考えるか。 ・市の職員が退職後にどれくらい活動しているか。また現職の人は入れないか。	日頃よりコミュニティ活動へのご協力に感謝申し上げます。コミュニティ協議会では、自治会役員を終えた方が参画するケースが多く、職員退職者数などの詳細な把握までは行っていませんが、多くの方に活動いただいています。また、市現役職員の参画事例もあります。 一方で、担い手不足が懸念されている中、若者の参画が進んでいる事例もあり、高校生や卒業後の若者がコミュニティ活動に関わるケースも見られています。市としても若い世代の力を活用し、活動の先細りを防ぐことが重要と考えています。地域支援課では、コミュニティ協議会の相談対応や、若者とのマッチング支援などを行っておりますので、ご相談いただければと思います。	総務部
5 躍動	コミバス	・コミュニティバスについて、母が介護で乗車した時「早く乗れ」とせかされた。バスの運行も大事だが乗る人の気持ちを考えてほしい。	そのようなことがあったということで、まず私の方からお詫びを申し上げたいと思います。当然乗っていただく方は増やしていきたいというのが、我々が思っているところですが、使いやすいコミュニティバスにしていくためには、やはり安心して皆さんに乗っていただくことが大事だと思いますので、運行を委託している業者の方にも伝えますし、我々の方でも指導をしていきたいと思います。今年度、新しく公共交通計画を策定しておりまして、その中にもありますけれども、各地区からの要望などを受け入れながら、バス停の数を増やすとあるとか、ルートを見直すとあるとか検討しております。そういったご要望や、あと今言ったような、常務員・運転手の不手際といったものがあれば、地域支援課の方が担当しておりますので、そちらに一報を入れていただければと思います。	総務部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
5 躍動	コミバス	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの利用について詳しく知りたい。 ・コミュニティバスを中心とした、公共交通の充実について。 ・堀之内在住で免許証返納を考えると、コミュニティバスの進路に南向きも欲しい。 ・コミュニティバスの運行時間を延長してほしい。 	<p>コミュニティバスにつきましては、現在、地域公共交通計画の見直しを行っております。基本的な考え方としましては「地域公共交通の維持継続により暮らしの質を保ち、地域を支える」として利用者に寄り添った公共交通になるように進めております。</p> <p>コミュニティバスの運行時間を増やしてほしいなど、様々なご意見を伺っているところでございますが、運行時間を拡大すると事業費も変わってきます。現在運賃を一律100円としておりますが、費用面などを考えて総合的に判断していきたいと思っております。また、自治会からバス停の位置を変更してほしいという要望があれば、変更することも可能ですし、ルートの変更についても、交通規制等がありますができる限り対応していきたいと思っております。</p> <p>まだ議会を通過していないのははっきりとは言えませんが、75歳以上の高齢者などの運賃免除を検討しております。運転免許返納者の増加や交通事故防止という観点がありますが、こうした支援を行うことで、高齢者の外出機会を増やしていただき、健康増進にもつなげていきたいと考えています。</p> <p>あくまで議会の承認を得てからになります。総務部長から説明のあったとおり、運賃免除については、75歳以上の高齢者そして運転免許返納者を対象に実施できればと動き始めたところです。</p>	総務部
5 躍動	コミバス	<ul style="list-style-type: none"> ・土日にもコミュニティバスを運転してほしい。 	<p>本市のコミュニティバスは市立総合病院を交通結節点としており、土日祝日は休診日であること、また、普段はお勤めのご家族がお休みで自宅にいらっしゃれば、自家用車での移動が考えられることなどから、土日祝日にコミュニティバスを運行した場合は平日より利用者が減ることが予想されます。これにより平均乗車密度が下がることで県の補助金の交付対象から外れてしまう可能性があるほか、運転手不足や経費的な問題もあるため、当面は現状の運行形態を維持していきたいと考えておりますが、市民サービス向上の観点から、土日祝日の運行については交通需要や運行の効率性などを考慮したうえで、今後検討してまいります。</p>	総務部
5 躍動	多文化	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、適応策、外国籍の人との共生 	<p>多文化共生につきましては、やはり外国人の方と共生していく必要がある状況だと考えています。実際に外国人の皆さんが、近隣の工場や農業の技能実習生、菊川病院でも看護助手としてインドネシアの方がお勤めいただいております。そうした、いろいろな仕事の担い手としてこれからも十分考えられると思いますので、いかに日本人と同じように生活をし、仕事をしていけるかということが大事になると思います。</p> <p>市では地域支援課に外国人相談窓口を設置して通訳や翻訳に対応しています。市内に転入される中にはお子さんもおりますので、お子さんが日本の学校に行く前に、日本語を少しでも習得してもらって初期支援として「虹の架け橋教室」を御前崎市、掛川市と3市で共同運営をしています。また、本市に引っ越してきた方向けに、ゴミの出し方や交通安全、子育て、税金、保険などについて説明するオリエンテーション動画を作成しまして、日本の習慣などを理解をしていただくよう努めております。</p>	総務部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
5 躍動	多文化	<p>・人口オーナス期での外国人との関わり方はどうしたらよいか。</p> <p>※人口オーナス：少子高齢化が進み生産年齢人口に対する従属人口の比率が上昇し、社会保障費の負担により経済成長を阻害すること。 (オーナスとは負担、重荷という意味)</p>	<p>市内の外国人住民の状況ですが、9月末現在の菊川市の人口が46,846人、その内外国人の方が3,993人、比率にして8.52%で、県内で吉田町に次いで2番目となります。国籍としましては34カ国で、一番多いのはブラジル人で約半分、フィリピン人が4分の1、その後にベトナム、インドネシア、中国となっています。旧町で見ますと小笠が15.23%で菊川が5.6%、地区別で一番多いところは平川地区の19.58%となります。昨年と比べて日本人は445人の減、外国人は40人の減でございます。</p> <p>多文化共生につきましては、やはり外国人の方と共生していく必要がある状況だと考えています。実際に外国人の皆さんが、近隣の工場や農業の技能実習生、菊川病院でも看護助手としてインドネシアの方がお勤めいただいております。そうした、いろいろな仕事の担い手としてこれからも十分考えられると思いますので、いかに日本人と同じように生活をし、仕事をしていけるかということが大事になると思います。</p> <p>市では地域支援課に外国人相談窓口を設置して通訳や翻訳に対応しています。市内に転入される中にはお子さんもおりますので、お子さんが日本の学校に行く前に、日本語を少しでも習得してもらう初期支援として「虹の架け橋教室」を御前崎市、掛川市と3市で共同運営をしています。また、本市に引っ越してきた方向けに、ゴミの出し方や交通安全、子育て、税金、保険などについて説明するオリエンテーション動画を作成しまして、日本の習慣などを理解をしていただくよう努めております。</p>	総務部
5 躍動	多文化	<p>・外国人の比率と今後の多文化共生の方針は。(全国的に問題になっている)</p>	<p>市内の外国人住民の状況ですが、9月末現在の菊川市の人口が46,846人、その内外国人の方が3,993人、比率にして8.52%で、県内では吉田町に次いで2番目に高い割合です。34カ国の方が暮らしており、国籍別ではブラジルが最も多く約半数を占め、次いでフィリピン、ベトナム、インドネシア、中国の順となっています。人口減少・少子高齢化が進む中、外国人住民は地域社会や産業を支える貴重な担い手です。</p> <p>当市では第4次菊川市多文化共生推進行動指針において、【多様性を尊重し、誰もが安心していきいきと暮らせる多文化共生社会の実現】を基本理念に掲げ、外国人住民が地域への参画・活躍ができるまちを目指し、事業に取り組んでいます。具体的には、外国人相談窓口の設置や日本語教室の運営を行い、生活に関する相談対応や通訳・翻訳、日本語学習の支援などを実施しています。また、外国人住民が日本での生活ルールや行政手続きなどについて理解を深められるよう、多言語に対応した、「ごみの出し方ルールブック」や税に関する文書の配布、フェイスブックを活用した情報発信などをおこなっています。今後も、社会情勢の変化を踏まえながら、日本人住民と外国人住民が安心して暮らせる社会の実現に向け、関係機関と連携しながらサービスや情報の提供の充実に努めるとともに、外国人住民の地域活動への参加を促し、多文化共生のまちづくりを推進していきます。</p>	総務部
5 躍動	農業	<p>・耕作放棄地、荒廃農地への対策は。</p> <p>・休耕している茶畑の今後はどのようにしていくのか。</p>	<p>耕作放棄地につきましては、市内全域で特に目立つのが茶畑の耕作放棄地です。ただし、茶畑の耕作放棄地を全て元通り耕作できる土地に戻すことは、農家の高齢化も進んでいますので非常に難しい段階になっています。そうした中で、面的整備をやったような、ある程度平らで道路がある農地については継続して耕作していただきたいと思いますが、急斜面や道路がないことところについては、一部諦めることも必要だと思っています。</p> <p>これらの対策につきましては、農林課で地域計画を策定しまして、地元農家や担い手の方、農業委員会などと座談会を開き、図面を見ながら、農地や担い手の集約などについて協議しています。また、今年度から耕作しない方と耕作したい方をつなぐマッチングなども本格的に始めており、少しでも耕作放棄地を減らしていきたいと考えています。</p>	建設経済部
5 躍動	農業	<p>・茶業振興策について、“お茶の菊川”の復活は難しいのか。</p>	<p>お茶の値段については、皆さんご存知のとおり令和6年度に大きく下がり、令和7年はよくわからないぐらい上がっている状況です。今後、茶価がどう動くのか読めない状況ですが、やはり抹茶需要はこれからも十分伸びていくと考えています。生葉を売る際に、碾茶にして抹茶にするためには被覆をしなくてはならないので、市はこうした取組について後押しをしていきたいと考えておりますので、頑張る努力してまいります。</p>	建設経済部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
5 躍動	農業	・波乗りレモンの今後の開発計画について、牧之原市と連携はあるのか。	波乗りレモンにつきましては、牧之原市さんが中心になって取り組んでいることですが、菊川市も連携をさせていただいておりまして、今年倉沢地内の棚田近くの耕作放棄地にある茶を伐根しまして、伐根した茶の木を燃やして炭にして、それを肥料に混ぜ込んで使うというものです。市長には現場の方で植樹もやってもらいました。波乗りレモンという組織は、どこの方でも入ることができる団体でございますので、菊川市も入っていますし、遠くだと富士市なども入っていると聞いています。拡大を考える方がいらっしゃいましたら農林課で対応いたしますので、ご相談いただければと思います。耕作放棄地の関係で茶樹を抜いてレモンにするということも可能でございます。また、若干ですが苗木の購入や伐根後に土壌改良をする費用については補助金等がございますので、ご相談いただければと思います。	建設経済部
5 躍動	農業	・菊川茶のアピール宣伝 深蒸し茶が掛川のイメージになってしまってる。	菊川茶のアピールにつきましては、色々なPRをしている状況でございますが、掛川の深蒸し茶と菊川の深蒸し茶を比べたときにどっちだと言われた場合、正直お店に並んでいるのは掛川深蒸し茶が圧倒的に多いというのが現状だと思います。そんな中で生き残りをかけていかななくてはならないということで、海外に向けた展開については佐川急便と連携してアリババというECサイトで販売をしているところです。また、昨年度からビジネスコンテストを開催しておりまして、ビジネスコンテストの参加者の方が、スイスに商品を持ち込んで販売をしていただいたり、今年はロンドンでもやっていくということは聞いていますので、販路を少しずつ見つけていくということ考えていますので、これからも引き続きお茶はしっかり守って、耕作地もしっかり守って頑張っていきたいということで考えています。	建設経済部
5 躍動	農業	・農地法の緩和はできないか。	農地転用の許可については、農地法等の許可基準に基づき、周辺農地に与える影響は軽微であることや、計画の内容は適切なものとなっているかなど審査し、許可されるものです。農地転用の許可基準などの農地関係の法令の緩和については、国が決めることであり、現在は緩和される見込みはありません。	建設経済部
5 躍動	経済	・EnGAWAの効果を数字で知りたい。	<p>まずは産業支援センターに関心持っていただきありがとうございます。産業支援センターの効果を数字で知りたいということで、まずは施設利用者数ですが、令和6年度は月平均456人の方にお越しいただきました。今年度に入りまして少し増えて、月平均600人の方にお越しいただいている状況です。産業支援センター開設の目的は3つあります。1つ目が、企業の後継者不足ということで事業承継について取り組んでほしいということ。2つ目が、ワンストップで経営の相談窓口を設置してほしいということ。3つ目が新しい企業を誘致するという事です。</p> <p>1つ目の後継者不足の事業承継については、相談や情報発信を行っておりますけれども、昨年末に産業支援センターを使って事業承継をしていただいた方は2件ありました。今年度ですが、セミナーを開催したりしておりますが、今のところ承継したという連絡はいただいておりますので、引き続き取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>2つ目の経営に関するワンストップの相談窓口ですが、昨年度は410件ご相談をいただきました。今年度は9月末現在で168件ご相談いただいているところです。こちらはどなたでも無料でお使いいただけますので、もしご近所の方やお知り合いの方など、経営について相談をしたいという方いらっしゃったらぜひご案内いただければと思っております。</p> <p>3つ目に新しい企業、スタートアップ等を誘致するという事で、ビジネスコンテストの開催に取り組んでおります。昨年はお茶の活性化ということで106件の事業者の方がエントリーしていただきまして、44件の企画書の提出がありました。最終的に最終選考に残った方は、お茶をヨーロッパでテスト販売するなどの取り組みをしていただきました。最終審査に残った方は、それぞれが取組を色々なところで発信をしてくださっているところです。この取組は本年度も開催をしているところで、今年はお茶だけではなく、農業や食、そして環境に関する提案いただき、応募を締め切りました。今年度は105件の応募があり、企画書を提出していただいたのが53社ということです。12月11日に、最終審査に残った10社のプレゼンテーションを聞く最終審査会を開催いたします。こちらはオンライン開催でどなたでもご覧いただけますので、興味・関心あればお申し込みいただければと思います。</p>	建設経済部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
5 躍動	経済	・次世代につながる産業の育成はどうか。	<p>人口減少や高齢化などにより市場規模の縮小が懸念されるほか、人材確保や事業承継がさらに深刻になることが見込まれるため、積極的に相談に対応し、支援していく必要があると認識しています。令和6年3月に産業支援センターを開設し、事業承継・創業支援・スタートアップ誘致などの取組を進めています。具体的には、令和6年度からビジネスプランコンテストを開催しています。令和7年度はアグリテック、フードテック、循環型社会をテーマに新産業の提案を募集し105件のエントリーをいただきました。このような取組を通じ、当市を拠点とする新たな事業創出を支援していきます。産業支援センターの取組の様子は広報菊川にも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。</p> <p>また、フォトンバレーセンターやイノベーション推進機構などの専門機関と連携し、AIや光技術などの最新技術導入に向けた支援を行っております。</p>	建設経済部
5 躍動	経済	・菊川市の工業、農業、商業などの現状はどうか。	<p>工業については、雇用の確保が困難な状況で、市内企業は人材確保に苦労しています。市では、学生向け企業見学バスツアーの開催や企業就職情報誌の作成などにより、市内企業を多くの方に知っていただくための施策や中小企業等奨学金返還支援事業費補助制度による企業の採用力強化を図ってまいります。</p> <p>農業については、恵まれた気象条件や交通条件等を背景として、地域の特性を生かした特色ある農業生産が展開されており、茶を中心に、水稻、レタス等の露地野菜、トマト等の施設園芸等に取り組む複合経営が主体となっています。しかし、後継者不足や高齢化の進行により、荒廃農地が増加傾向にあります。特に中山間地においては、耕作条件の不利も要因となり、急速に農地の荒廃化が進んでいることから、スマート農業や農業生産基盤、農業用施設の整備を推進し、作業の省力化、農畜産物の生産コスト削減、品質の向上を図り、農業所得の向上につながる施策を推進してまいります。</p> <p>また、認定農業者や認定新規就農者などの経営体の育成・確保を図るため、地域計画の地域での話し合いにより、貸し手、借り手の現状把握や耕作者の営農意向の確認を行い、農地中間管理事業（農地バンク事業）を活用して、規模拡大や効率化を目指す担い手への農地の集積・集約化を推進してまいります。</p> <p>さらに、新たな地域特産物の開発やブランド化を進めるとともに、基幹作物である茶・水稻と地域特産物等の高収益作物との複合経営を推進し、農業者の所得向上を支援してまいります。</p> <p>商業については、郊外型のスーパーマーケットやドラッグストアが開業する一方で、個人経営の店舗では後継者不足を含め様々な理由で廃業を検討するところも増えています。その一方で、飲食を中心に若い世代が開業する事例もありますので、商工会等の関係機関と協力しながら、事業承継や開業を支援してまいります。</p>	建設経済部
5 躍動	観光	・小菊荘の利用者増について	<p>令和7年4月から指定管理者による運営を再開し、10月末現在において6,332人の方にご利用いただきました。運営再開後は、ロビーを改装したレストランでの飲食だけでなく、地元の皆様の会合や同窓会、各種団体等の懇親会などでもご利用いただいております。また、スポーツ団体などの合宿利用も増えております。</p> <p>今後も、指定管理者と協力しながら小菊荘の利用者増を目指していきます。</p>	建設経済部
5 躍動	観光	・菊川でサーフィンは聞いたことがない。どこで？	<p>菊川市は海に面していませんので実際に市内でサーフィンは出来ませんが、周辺市の牧之原市や御前崎市では盛んに行われています。菊川市がある中東遠地域については、温暖な気候で雪が降りませんので冬でも色々なスポーツやレジャー、アウトドア活動ができます。その一例として紹介させていただいたものです。</p>	総務部
5 躍動	観光	・菊川市内は特に観光地や食べ物など少ないが今後はどうなるのか。	<p>菊川市は観光資源が少なく観光交流客数も多くありません。その一方で、宿泊者数では近隣の袋井市や牧之原市を上回っていますので、宿泊された方に市内を周遊していただく仕掛けを考えております。市内の周遊促進のため、令和5年度からレンタサイクル事業をスタートさせ、市観光協会と協力してレンタサイクルツアーを企画しているほか、同じく観光交流客数が伸び悩んでいる中東遠地域の市町と広域連携したスタンプラリーなどの事業を実施しております。</p> <p>名物となるような食べ物、お土産については市商工会が実施している「きくがわブランド」認定品のPRに協力するなどして、菊川市の物産の知名度向上を図っております。</p>	建設経済部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
5 躍動	住宅	・空き家、空き地問題について	<p>空き家・空き地の関係ですが、昨年度に、空き家の全数調査を実施しました。1年以上住んでいない空き家は菊川市内で約340戸ございます。小笠南地区のデータは空き家が27戸ということです。市全体の空き家率は約1.5%になりますが、小笠南地区は2.1%で若干高い状況でございます。</p> <p>空き家に関する相談窓口は、一括して都市計画課の方で通常の相談を受け付けており、年3回ほど専門家相談を開催しております。予約制になりますが、宅建協会の方とか司法書士の方が相談にのってくださいますので、そういう場で解決をしていただきたいと思います。</p> <p>やはり、利活用がない建物をずっと持っているのは大変ですので、今年度は空き家の解体費補助金を出しております。最大で30万円、一般的な建物の平均が大体130㎡ぐらいですが、およそ200万円の取り壊し費用になりますので、補助金を使ってもらいまして解体していただくことも進めております。</p>	建設経済部
5 躍動	住宅	・市営団地の入居が減少していますが、せっかくある施設をもっと有効利用できないか。	<p>市営住宅の関係でございますが、菊川市内の市営住宅は長池団地、上本所団地、赤土団地で210戸ほどの部屋を用意しております。現在は大体65%程度の入居率ということで、合併した直後は100%でしたが、その後やはりアパートが増えてきて、快適さがちょっと違うとか、エアコンやインターネット環境、自治会付き合いも少ないとか、快適さがちょっと違うとか、それぞれ皆さん考えているということで入居率が下がっております。</p> <p>入居条件の緩和ですが、複数の方がいらっしゃるとか、収入が低いとかという条件がありますが、それも若干緩和をさせていただいて、上本所だと单身でも入れるように条件緩和をしておりますので、これからもう少し緩和しながら入居者を増やしていきたいと考えております。</p>	建設経済部
5 躍動	住宅	・老朽化した非現住住宅の持ち主に対して、市からの通知、依頼、指導などの取り組みは？	<p>適切な管理がなされておらず、周辺環境に悪影響を及ぼしている空き家については、所有者の居所等を調査したうえで、適正な管理を求める通知や依頼を行い、必要に応じて行政指導を実施しています。また、利活用の予定がなく老朽化が進んだ空き家については、除却を促進するため、除却費用の一部を補助するとともに、除却後の跡地を含めた利活用について相談できる機会の確保に取り組んでいます。</p>	建設経済部
5 躍動	住宅	・宅地等の相続について	<p>空き家の利活用や処分の促進、また所有者不明土地の発生を防ぐためには、適切な相続手続が重要であることから、静岡県司法書士会などの関係団体と連携し、相続登記の早期実施について周知・啓発に取り組んでまいります。併せて、空き家に関する相続上の課題について相談できる機会を確保し、必要に応じて専門家へつなぐなど、円滑な対応を支援してまいります。</p>	建設経済部

項目	分類	ご意見	市の回答	担当部
その他	人口	・若者の出会いの場の提供について	<p>子供の数がすごく減っているとありましたが、まずは結婚していただくということが非常に重要ですが、コロナ禍を境に状況が少し変わってきております。</p> <p>県と県内35市町で実施しております「結婚サポート事業」に参加しており、そこで「ふじのくに未来サポートセンター」を開いています。公共が運営しているということで非常に信頼度が高く会員も増えております。ここに登録していただくと、お相手探しや、婚活イベントの案内などが紹介されますので、お知り合いの中で必要な方がいればご紹介をいただければと思いますし、スマートフォンで菊川市・出会いと検索してもらえればそのサイトが出てきます。菊川市では、会員登録料の半額を補助してなるべく利用しやすいように進めております。</p>	企画財政部
その他	人口	・令和2年の人口が増えたのはなぜか？	<p>令和2年の人口増加要因ですが、移住を希望される人は、利便性が高く、区画整備が行われたような地域に人が集まる傾向があります。平成27年3月と令和2年3月の比較でも、人口が増加したのは、駅周辺の町部地区、インター前の加茂地区、平川地区など、基盤整備が進んだ地域でした。このため、今後計画している駅北整備は、人口増加に有利に働くものと考えています。</p>	企画財政部
その他	人口	・人口減少についての対策をもう少し詳しく聞きたい。	<p>結婚支援としましては、県と県内35市町で実施しております「結婚サポート事業」に参加しており、そこで「ふじのくに未来サポートセンター」を開いています。菊川市では、会員登録料の半額を補助してなるべく利用しやすいように進めております。</p> <p>また、結婚後の住まい支援としましては、若者世代の定住補助金（条件により25万円、3世帯同居の場合は40万円）を実施しています。</p> <p>加えて、郷土愛の醸成を目的に、中学生への職業紹介や、小笠高校・常葉菊川高校の生徒による地域課題研究などのキャリア教育を進めています。将来的に地域を離れた若者が、再び菊川市に戻ってくることを期待し、長期的な視点で取り組んでいるところです。</p>	企画財政部
その他	人口	・小笠南地区の人口減少はどうなるのか。	<p>国立社会保障・人口問題研究所が令和5年（2023年）に公表した令和42年（2060年）までの菊川市の将来推計人口は、減少しています。これは全国的な傾向であり、小笠南地区に限らず、市全体としても人口は減少していく見込みです。そうした状況を踏まえ、人口減少を抑えるための「緩和策」と、人口が減少しても持続可能な地域社会を築くための「適応策」を両輪で進めていくことが重要と考え、子育て世帯の経済的支援や子どもを希望する夫婦への妊活支援のほか、住環境の整備やUターン支援、移住促進などに取り組んでいきます。</p>	企画財政部
その他	リニア	・リニア工事による大井川水量問題について	<p>リニア新幹線整備における水量・水質の担保、国の関与ということですが、リニア中央新幹線は、静岡県が一番北部、山梨県と長野県に挟まれた大体10キロぐらいの区間をトンネルで通過するのですが、その上を大井川が流れていて、その水がトンネルを通過して山梨県あるいは長野県に流れてしまう。それが毎秒2tだということで議論となりました。トンネルの中に湧き出た水はポンプアップして、トンネルから下流部に流すことで、流域の水の量は今の水量を維持できるという学者たちの意見があって、その考え方からポンプアップができれば水は減らないということになっております。今は発生土、特に有毒なものが入っているような物の処理をどうするのかという問題も協議されています。将来にわたってポンプアップをしていくことに、JRだけでなく国がどのように関わってもらえるか、協議が進んでいるところであります。</p> <p>大井川の水は、飲料水や農業用水等、非常に重要なものでありますので、水がなくなることがないように、条件として協議が進められています。</p>	企画財政部
その他	その他	・聖地巡礼は大変良い取り組みだと思うが、幸せの黄色いポストが先日もホコリがかぶっていた。他の町から来た人はがっかりすると思う。毎日、拭き掃除をお願いしたい。	<p>幸せの黄色いポストにつきましては、新たに生まれた本市の魅力の一つとして、これからも聖地巡礼スポットとして活用していく予定です。ご指摘のとおり、雨風の影響で汚れていたり、くもの巣が張っていることもあるため、本庁職員の協力をいただきつつ、きれいな状態を保つようにしてまいります。</p>	総務部